

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2022年 5月 12日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市津雲台1-1-6

氏名 社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会千里病院
院長 中谷 敏

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6871-0121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、2021年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会千里病院
事業場の所在地	大阪府吹田市津雲台1-1-6
事業の種類	83 : 医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	270.000 t	全処理委託量	270.000 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	270.000 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	0.000 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	270.000 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 285.277t
	前年度 324.59t

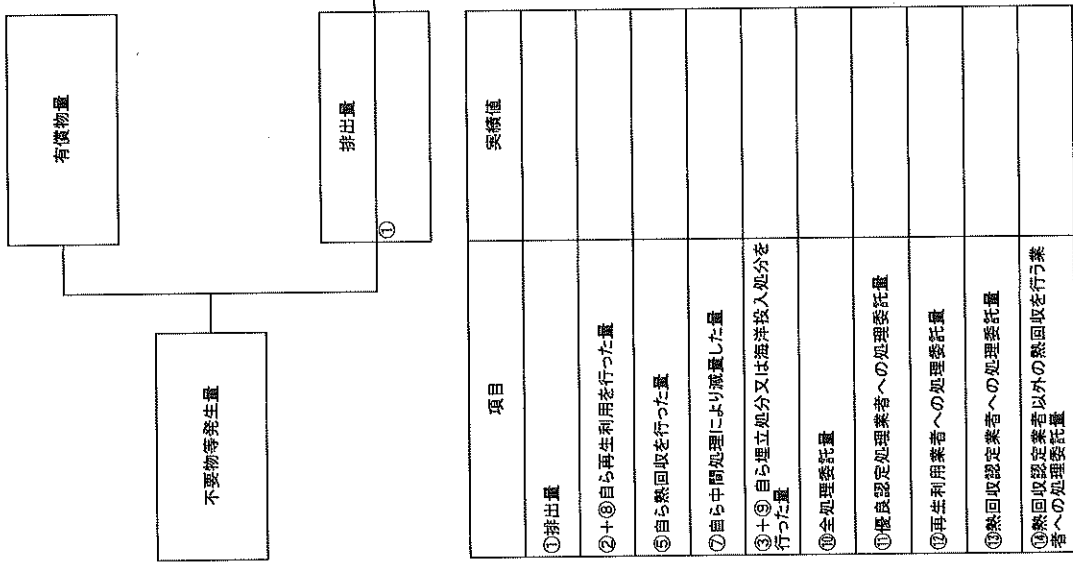
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)
2019年度より電子マニフェスト導入

※事務処理欄

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類)

別紙6のとおり



項目	実績値
①排出量	
②+④⑤自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑤⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑩優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙6(廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(2021年度実績)

単位:トン/年

特別管理産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況										区 分				⑩+⑪ 自ら再生利 用を行った 量	⑬+⑭ 自ら埋立処 分又は海 洋投入処 分を行った 量	
	①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分 又は海洋 投入処分し た量	④自ら中間 処理した量	⑤④のうち 熱回収を 行った量 (自ら熱回 収を行った 量)	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後 自ら埋立処 分又は海 洋投入処分 した量	⑫直接及 び自ら中間 処理した後 の処理委託 量(全処 理委託量)	⑭⑫のうち 優良認定 処理業者 への処理 委託量(優 良認定処 理業者へ の処理委 託量)	⑮⑫のうち 再生利用 業者への 処理委託 量(再生利 用業者へ の処理委 託量)	⑯⑫のうち 熱回収認 定業者へ の処理委 託量(熱回 収認定業 者への処 理委託量)	⑰⑫のうち 熱回収認 定業者以 外の熱回 収を行う業 者への処 理委託量 (熱回収認 定業者以 外の熱回 収を行う業 者への処 理委託量)			
7000 引火性廃油								0.000								0.000	0.000
7010 引火性廃油(有害)								0.000								0.000	0.000
7100 強酸								0.000								0.000	0.000
7110 強酸(有害)								0.000								0.000	0.000
7200 強アルカリ								0.000								0.000	0.000
7210 強アルカリ(有害)								0.000								0.000	0.000
7300 感染性廃棄物	324.590	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	324.590	324.590	0.000	324.590	0.000	0.000	0.000
7410 廃PCB等(下記以外)								0.000								0.000	0.000
7411 廃PCB								0.000								0.000	0.000
7412 PCB廃棄物								0.000								0.000	0.000
7413 PCB処理物								0.000								0.000	0.000
7421 廃石棉等(飛散性)								0.000								0.000	0.000
7422 指定下水汚泥								0.000								0.000	0.000
7423 鉱さい(有害)								0.000								0.000	0.000
7424 燐石膏(有害)								0.000								0.000	0.000
7425 廃油(有害)								0.000								0.000	0.000
7426 汚泥(有害)								0.000								0.000	0.000
7427 廃酸(有害)								0.000								0.000	0.000
7428 廃アルカリ(有害)								0.000								0.000	0.000
7429 ばいじん(有害)								0.000								0.000	0.000
7430 13号廃棄物(有害)								0.000								0.000	0.000
7440 廃水銀等								0.000								0.000	0.000
合計	324.590	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	324.590	324.590	0.000	324.590	0.000	0.000	0.000

※上記に分類できない特別管理産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。

※数量に關しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

様式第二号の九の第2面に記載された特別管理産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑩)に示す量を表に入力。